

1. センター長からのお知らせ
2. 本校生の外国語検定試験の受験状況
3. 本校の国際理解・外国語教育カリキュラム

1. センター長からのメッセージ



センター長 松平 麻也

本学院は世界 30 か国以上に姉妹校を持つ” Assumption” グループの日本でたった 1 つの学校です。同じ創立者、聖マリ・ウージェニーの志の下に集められた生徒は世界中に 5 万人にのぼります。

そんな国際性豊かな学校で学ぶ生徒に、国際交流の機会を少しでも

多くもってもらえるように誕生したのがこのセンターです。同時にこの国際交流において、必須のツールとなる、英語そしてフランス語の学びがより実り多いものとなるよう、外国語科と連携し、生徒のみなさんの外国語教育をサポートするのも忘れてはならないセンターのもう一つの柱です。

さて、みなさんは「チビチリガマ」と「シムクガマ」のお話をご存知でしょうか。「ガマ」とは沖縄本島に多く見られる自然洞窟のことで、太平洋戦争の末期に起こった沖縄戦では、住民や日本兵の避難場所として、また野戦病院として利用されました。アメリカ軍の出てくるようにという呼びかけに対し、「チビチリガマ」では全員が自決の道を選び命を絶ちました。一方、「シムクガマ」では代表がアメリカ軍の兵士と話をし、誰も命を落とすことなく降伏という道を選びました。この2つのガマの違いは何だったのでしょうか。それはガマに隠れていた人の中にハワイに行き、アメリカ人の人柄やその文化に実際に触れたことのある人、英語を話せる人がいたことです。

私たちのほとんどがこのような状況に遭遇することはないと思います。しかし、日常の様々な場面で、「知らないこと」が招く誤解はあるのではないのでしょうか。

センターでは一人でも多くの生徒に、世界のことを「知る」「感じる」機会を提供し、異なる価値観の人々との出会いの中で、日本そして自分をもう一度見つめるチャンスを提供したいと考えています。

世界は広いです。その世界に目を向け、考え、行動する。そんな生徒を、一人でも多くサポートしたい、それがセンターの願いです。